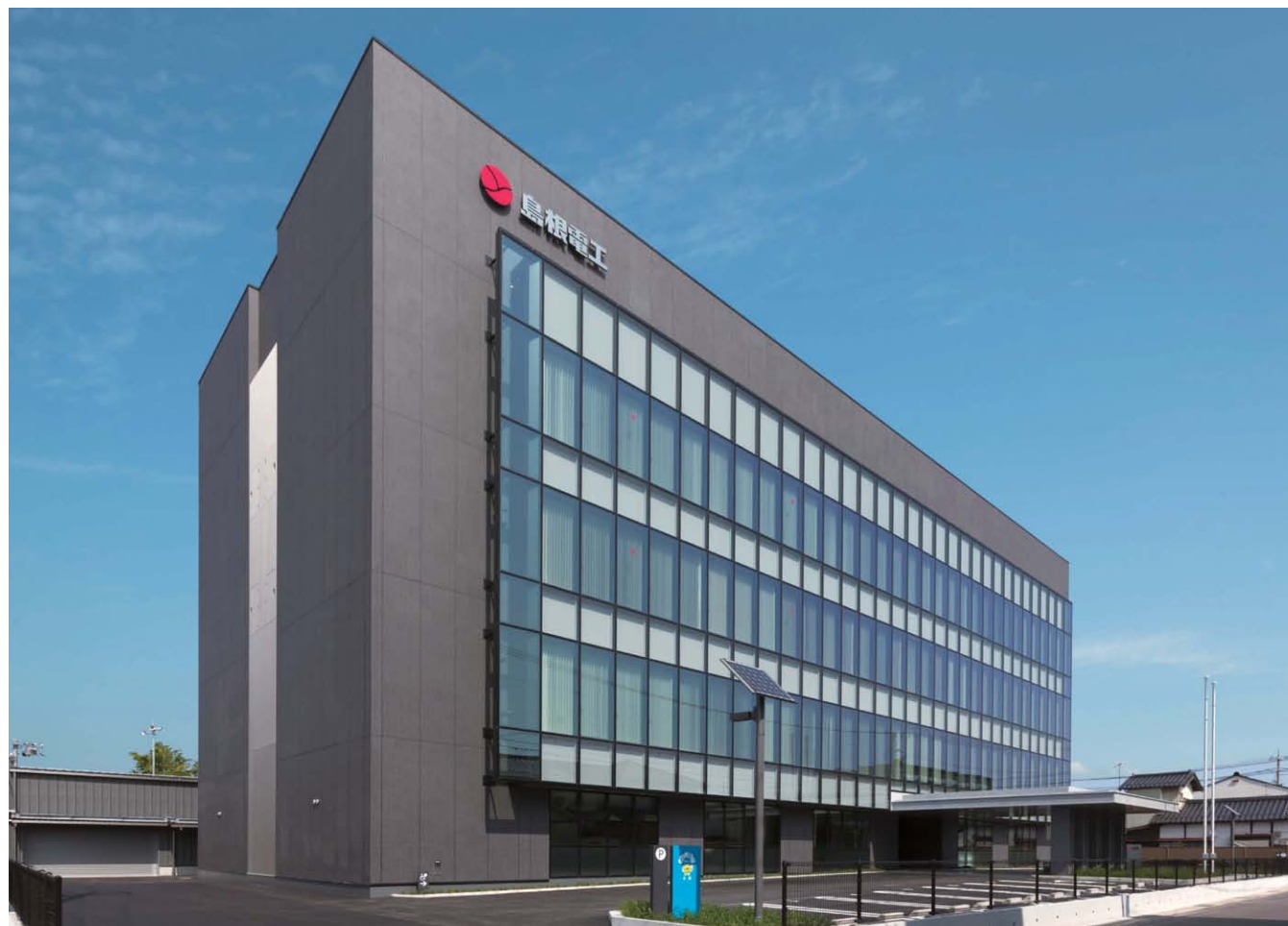


地域貢献にも寄与する 先進的な新社屋が完成。

島根電気株式会社様 島根県松江市

松江市の島根電気株式会社様は、2014年12月に本社ビルを新築されました。LED照明やフル2線分電盤、太陽光発電システム等を採用し、電力を一元管理・制御する最先端のビルには、職場環境の大幅な改善と、代表取締役社長 荒木恭司様の地域貢献への真摯な思いが込められています。



タイルとガラスのコントラストが美しい新本社ビル

研修施設の必要性がきっかけとなり 新築移転が決定

遠くに松江城を望む4階建の新本社ビルは、旧本社ビルに隣接する私有地に建てられました。延べ床面積は4,000㎡と旧本社ビルの1.5倍に広がりましたが、全館にiDシリーズやスクエアLEDなど約600台のLED照明を採用され、電気代は約半分に削減されています。1階は松江営業所等が入り、2階が

本社、3・4階は役員室の他に大小の会議室・研修室が設けられました。

島根電気様は、公共工事主体のビジネスから小口工事サービス「住まいのおたすけ隊」に主軸を置き業績を伸ばしてこられました。2013年からはフランチャイズ展開もスタート。日本各地から加盟店様が研修に集まるようになりました。昭和42年建築の旧本社ビルは耐震性やバリアフリー化の



最新の設備を備えた大会議室

他に、会議室・研修室の不足が大きな問題となり、新築移転に至りました。

250名が会議できる充実装備の大会議室

会議室・研修室の中でメインとなるのは4階にある250名収容の大会議室です。左右に2セットのプロジェクターと、後方の席からも見えるように50インチディスプレイも2台設置。音響設備や照明を細かく調光できるフル2線液晶操作パネルなど最新の設備を備えた会議室で、フランチャイズ研修や社員研修、社内会議などにフル活用されています。

研修も地域貢献

バブル崩壊以降、国の政策等により公共事業が減ると予測された荒木様は、島根電工を電気工事会社から「快適な環境を提供する会社」へと変換を図られました。そこから出てきたのが電気や水回りの困り事を解決する「住まいのおたすけ隊」というアイデアです。その抜本的で思い切った変革は「日本でいちばん大切にしたい会社3」（あさ出版）でも紹介され、現在は売上げの約4割を占めるほどに成長。フランチャイズ加盟事業所は23社にまで増えました。研修内容は「住まいのおたすけ隊」にとどまらず、電気工事、管工事、設備工事の経営ノウハウ全般に及び、事前研修でも1社あたり10名が参加され1週間行われます。荒木様は研修も地域貢献のひとつと位置づけられ、松江まで来て、宿泊し、研修後は松江観光をして帰ることができるスケジュールにされているそうです。もうひとつ大切にされている地域貢献は雇用



多数のLED照明をコントロールするフル2線液晶操作パネル

です。島根電工グループでここ4年間、毎年30人超を採用。3年間の基礎研修以降もさまざまな研修をされ人材を育成されています。加盟店の方々も島根電工様の社員教育についてはとくに熱心に聞かれるといいます。

島根電工様のテーマは「感動」です。期待通りの仕事をするのは当然のことで、感動を得ようとするれば「期待をこえること」が必要だというお考えです。「島根電工にとっていちばん大切なのは社員とその家族です。」と荒木様はおっしゃいます。感動を与えるのは経営者ではなくお客様と直に接する社員様。そのために社員教育が重要であり、経営者の仕事は社員を大切に楽しく働ける環境を作ることであると常々お考えになっています。

新しい本社ビルは、ウッドデッキの休憩スペースを設けるなど、社員様の憩いの場にも配慮されています。「一見贅沢だと思えるスペースもありますが、社員がとてもわくわくしながら会社に来ているのを見ると、やはり無駄ではなかったと感じています。」と荒木様は笑顔で語られていました。



島根電工株式会社
代表取締役社長
荒木 恭司様

住まいがさらに素敵に。 上質なあかり空間のご提案。

西田 貴志様邸 ■福岡県太宰府市

2014年6月に新築された西田様邸のLDKに、パナソニックのダウンライトとモディファイ、そしてリビングライコンをご採用いただきました。「照明の雰囲気を变えることで、とてもリラックスできます」と大変ご好評をいただいています。

全灯



食事のあかり



シアターのあかり



読書のあかり



4つの表情をお楽しみいただいている西田様邸のLDK。



閑静な住宅街に建つ、テクノストラクチャーの特徴を生かした4LDK平屋建て。

家族でくつろぐLDKに 計14灯のあかりで照明プランを構成

ご自宅の新築に際して「家族と過ごす時間を大切にできる家にしたかった」と西田様はおっしゃいます。設計・建築を請け負われたのは、パナソニックビルダーズグループにご加盟いただいているエスプレッソホーム様。創業が明治24年という、北九州の老舗材木店が母体のビルダー様です。常務取締役の福原功夫様は、西田様とは以前からの

お知り合いで、土地探しからお手伝いされました。ゆとりのある広さの土地が見つかったことから、空間が広く取れるテクノストラクチャーの特徴を生かした4LDKの平屋をご提案。勾配天井のLDKは37.5㎡と、西田様ご夫妻と二人のお子様

がゆったりくつろぐのに十分な広さになっています。照明の構成は、勾配天井に調光タイプのLEDダウンライト6灯、テレビ台の奥、吊り棚の裏にニッチダウンライト3灯、ダイニングテーブルの上方にモディファイ1灯、それらの照明をリビングライコンでコントロールする「シンフォニーライティング」※になりました。

暮らしを想像しながら 照明の位置をひとつずつ決定

エスプレッソホーム様では以前にもリビングライコンをご提案され、お施主様の評価が高かったことから今回も自信を持っておすすめされました。シーリング1灯ではなく、複数のダウンライト等を組み合わせる時代になり、多くのスイッチをまとめるリビングライコンは時代にマッチしているとおっしゃいます。

照明プランの作成・施工にあたり、福原様をご相談された電気工事会社様が北九電業様でした。代表の

14灯のLEDをコントロールする
リビングライコン。



松本忠夫様は「図面通りではなく家の完成形を見据えた仕事をしていただける」と福原様から大きな信頼を得ていらっしゃいます。実際に松本様は、テレビやソファの位置、家族がここでどう過ごすのかを想像しながら、ダウンライトの位置や間隔をひとつずつ決めていったとおっしゃいます。リビングライコンは全灯の他に、食事、シアター、読書など4つのシーンが設定されました。

照明が住まいの魅力を高める

新居での生活が始まって以来「毎日あかりを楽しんでいます」と西田様はとてもご満足いただけているようです。ご自身が思っておられた以上に4つのシーンを小まめに切り替えてご使用になっているそうで、ご家族4人で賑やかに過ごす時間、お子様が寝られてからご夫婦でくつろぐ時間、オンオフが照明によってはっきりするのがいいとのこと。「ひとりでお酒を飲んでいるときは王様になった気分」と笑顔で語られます。LDK照明の重要性について福原様はこうおっしゃいます。「家族みんながリビングで過ごす時間は限られています。週末以外はほとんど夜だけでしょう。その限られた時間をどう演出するか。そこが照明の重要性であり、提案する側の楽しさでもあります。照明によって住まいの魅力を高めることができるのです」。

笑顔があふれる
西田様ご家族



！ご提案のポイント



エスプレッソホーム
常務取締役 福原功夫様

暮らすことに不便のない照明だけではあまりにも寂しいのではないのでしょうか。明るければいいという時代ではなく、今はLEDで雰囲気作りができます。暮らしに支障がない明るさは当然として、そこに少しスパイスを加えることが「提案」だと考えています。それがリビングライコンによるモディファイです。照明プランはお施主様も後回しになりがちですが、暮らしをイメージしていただくために早い段階でご提案をしています。



北九電業 松本様ご夫妻

電気工事を承った際は、まず家の全体像を把握するようにしています。完成形を知らないと、あとで後悔することがあるからです。大工さんをはじめ他の仕事があるかを想像して、それを踏まえた上で照明の位置などを考えています。また、生活動線は女性の意見が大切と考えています。妻も現場工事を手伝っていますが、意見を聞きながら二人三脚でお施主様の使い勝手がよくなる施工を心がけています。

※シンフォニーライティング：一室一灯ではなく、複数のあかりを組み合わせることによって様々な生活シーンを演出し、上質な空間を提供するパナソニックの照明手法。

「太陽光王国・佐賀」で 電気工事会社様が発電事業へご参入

東島電気工事株式会社 様 ■佐賀県唐津市

住宅用太陽光発電の普及率が12年連続で日本一となる佐賀県が、事業用太陽光発電の普及促進を目指した「県有施設屋根貸し事業」を平成24年にスタート。その第1号として唐津市の東島（ひがしじま）電気工事株式会社様が応募され、発電事業に進出されました。パナソニックの高効率太陽光パネルをご採用いただき、順調に発電ビジネスを運営されています。



南向きの勾配屋根9箇所にHITモジュール1200枚を設置。



東島電気工事様本社社屋。こちらにも太陽光発電設備を設置。

好条件が揃っていた屋根貸し事業

「県有施設屋根貸し事業」は、県が所有する施設の屋根を民間事業者へ貸し出し、太陽光発電で得た売電収入は事業者へ、県には設置面積に応じたレンタル料が支払われる仕組みです。平成24年11月に行われた第1回の公募に東島電気工事株式会社様がご応募され、総合施設メンテナンス株式会社様と共同出資で発電事業を運営されることになりました。平成25年7月に着工。10月に完成し、発電事業が開始されました。

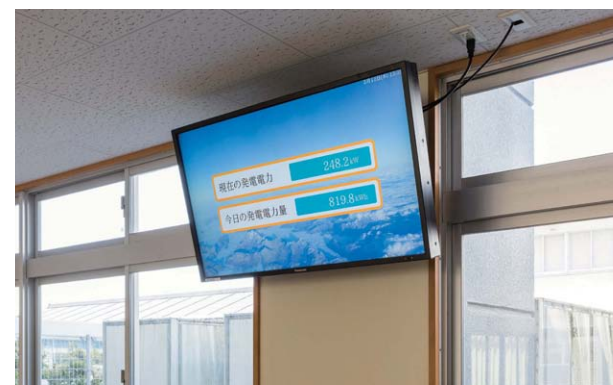


幹線道路からもよく見え、環境配慮へのPR効果も大。

屋根貸し事業の対象となった施設は、佐賀県立唐津東高等学校・唐津東中学校様。県下でも有数の進学校であり、公立では数少ない中高一貫教育に取り組まれています。創立116年の歴史ある学校ですが、平成19年、現在地に移転し、新校舎が建てられました。東島電気工事株式会社代表取締役 東島吉隆様は「新しい建物ですので耐震性は問題なく、学校の校舎としては珍しい勾配屋根の建物です。南面に設置すれば効率よく発電できるうえ、平地のように小動物等への対策も不要でした。発電事業を始める良好な条件が揃っていました」と語られます。

採算性を重視して 高効率太陽光モジュールを採用

ご採用いただいたのはパナソニックのHITモジュールです。施工当時では最も発電効率が高く、東島社長様もビジネスとしての採算性をご考慮のうえ機種を決定されたとのこと。校舎と体育館合わせて9箇所の南面屋根、総面積1806㎡にHITモジュール1200台が設置され、発電能力は300kWとなっています。パソコンやスマートフォンで発電量がリアルタイムでチェックできる他、生徒たちにも稼働状況が



リアルタイムで発電量をチェックできるデジタルサイネージ。

わかるように校舎内にデジタルサイネージが設置されました。また、災害時の非常用電源として体育館には蓄電池も装備されています。

電気工事会社様こそ 発電事業に率先したお取り組みを

東島電気工事株式会社様は本社社屋にも太陽光パネルを設置され、お客様にも以前から積極的にご提案されてきました。学校に太陽光パネルを設置することで、中高生に環境への意識を持ってもらうこともでき、なによりも異業種からの参入が多い発電事業に、太陽光発電設備を取り扱っている電気工事会社こそ率先して取り組むべきだというお考えでした。社員の方からも「今回の事業にぜひ手を挙げましょう」という強い後押しがあったといいます。

長期的な視野に立った省エネのご提案

東島社長様は「永続的に企業を運営していく」ことがモットーだとおっしゃいます。今回の発電事業も長期的な視野に立ってのこと。それは省エネのお取り組みでも同様です。LED照明のiDシリーズを高く評価していただいており、お客様へも「数年で元が取れます」とリニューール提案されています。長く経営していくのであれば、やはり最新の設備を導入して管理費を抑えるべきであり、そのお考えが合致するお客様は、ご提案をすぐ理解していただけるとおっしゃっています。



東島電気工事株式会社
代表取締役 東島 吉隆様